

SBCHは、たえざる変革をもとに 優れた製品をおくりつづけます。



1996年は、私たちが日本の大衆薬市場に参入して30年という記念すべき年にあたります。確かに、この30年という歳月は日本の大衆薬市場に実に多くの変化をもたらしました。しかもその変化は、近年になってますます加速の度を深めているのです。

最近行われた社内の会議で、私は「“変化”を管理する」と題して話をしました。そのなかで私が強調したかったのは、私たちは積極的に、そして前向きに変化を管理していくべきであって、さもないと変化によって管理されてしまうということでした。そうした意味でSBCHは、ビジネスのパートナーの、そして最終的には私たちの製品をご愛用くださっている消費者のベネフィット（利便）に役立つことを常にめざして、「変化を管理する」よう努めています。

近年における私たち自身のもっとも重要な変化といえば、一般大衆薬メーカーからより広範な基盤に立ったコンシューマーヘルスケア企業への変革です。長くコア商品であった「コンタック」ブランドの風邪薬、咳どめ、鼻炭用剤などの製品群に、今年4月、「ファイゾ・ライン」スキンケア製品群が新たに製品グループに加わりました。また、今後2、3年の間に数種の新製品を上市する予定になっています。私たちの目標は、ユニークで付加価値に富んだ、優れた製品をビジネスのパートナーと生活者の皆さまに提供し続けることです。また、消費者の方々に対し強力なコミュニケーションを推進してまいります。

私たちはこれからも、日本のビジネスにおいて積極的な変革を果敢に展開していく所存です。私たちの念願は、そうした変革が皆さまにとっても有益なものであることです。その意味で、私たちの製品やサービスについての、皆さま方の忌憚のないご意見をお聞かせいただければ幸いです。今後とも私たちを引き続きご支援、ご協力くださいますよう心よりお願い申し上げます。

ゼネラルマネージャー ポール・アンダース・シュワム

スミスクリン・ビーチャム製薬株式会社 SmithKline Beecham Seiyaku K.K.

本社所在地 〒102 東京都千代田区三番町 6, SBビル
電話 (03)5221-5811(代表)
FAX (03)5264-3692

設立 1977年3月16日

資本金 94億5,000万円

事業内容 医療用医薬品（タガメット、カイトリル、リドロー等）の開発・製造・輸入・販売

代表者 代表取締役社長 村松 勲

従業員数 950名

売上高 281億円（1995年12月期）

営業拠点 札幌、仙台、埼玉、千葉、東京、横浜、名古屋、京都、金沢、大阪、神戸、高松、広島、福岡

スミスクリン・ビーチャム社 SmithKline Beecham plc

本社所在地 英国ブレントフォード市

設立 1989年7月（合併）

資本金 3億5,700万英ポンド（1995年1月現在）

売上高 70億1,100万英ポンド（1995年12月期）

従業員数 約5万2,000名

事業内容 世界130か国以上の国々で処方箋薬、コンシューマーヘルスケア製品の製造、輸出入、販売および臨床検査サービスを展開

